



特定非営利活動法人

## 神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 347

März 2020

### NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE  
GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

## 新型コロナウイルス感染予防対策について

会長 柘田 義一

新型コロナウイルスの感染拡大により先月来政府の緊急対応策により全国的に一斉休校・休園や外出の自粛要請などにより、更には一部商品の品不足により、その影響が私たちの生活を直撃しています。

神戸日独協会では先月政府より発表された感染拡大防止の指針に則り、予防措置としてアルコール消毒スプレーや除菌ウエットティッシュの設置、「注意喚起」の掲示など感染予防を考慮しつつ、ドイツ語講座とドイツ文化教室を継続してきました。しかしウイルス感染が兵庫県でも発生し、特に市中感染予防の必要性が生じてきました。このような状況に鑑みて、感染拡大防止の更なる対策として、3月6日(金)より3月13日(金)までのドイツ語講座とドイツ文化教室の授業をすべて一時休講しています。

また協会主催の催しについては、3月14日開催予定でした「会員によるコンサート」は不特定多数の方が集まり会場が閉鎖的であることから先月に延期を決定し、4月に来神予定だったハンブルク桜の女王とハンブルク独日協会役員との歓迎交流会および南ドイツのフローメルン民族舞踊団との交流会は、それぞれ来日が延期されましたので、ともに延期となりました。

この一週間兵庫県内の感染者は増加していますが、急激な増加ではなく、県内に分散発生し神戸市内での集中感染は見られていません。しかしEU域内では感染がこの数日間で急激に拡大し、ドイツでも感染者が1100人(3/10)を超えています。このような現状から感染はいつまで続くのか？クラスター・院内・施設内感染が多いが市中感染の可能性は？無症状感染者からの感染は？感染拡大について楽観視できず不安な状態が続いています。このように終息時期も見えず多くのことが不透明な状況の中で、自粛をいつまで続けねばならないのか、事業再開のスケジュールをどのように立てたら良いのかという問題に協会は現在直面しています。特に早急に対策を講じなければならない一時的休講をしている「ドイツ語講座・ドイツ文化教室」について、感染拡大予防のために次の措置を取らせていただきます。

## ドイツ語講座とドイツ文化教室について

### 2019年度第Ⅳ期 ドイツ語講座・ドイツ文化教室

現在3月13日(金)までの一時休講をしていますが、16日(月)以降引き続き今期の講座・教室を休講します。休講分の受講料の扱いなどについては、別途受講者にお知らせします。受講者には多大なご迷惑をおかけしますが、先行きまったく不透明な緊急事態への措置としてご理解をいただきたく、お願い申し上げます。

### 2020年度第Ⅰ期 ドイツ語講座・ドイツ文化教室

4月7日(火)より平常通り開講します。開講クラスとその内容については、同封のパンフレットをご覧ください。ウイルス感染拡大の急激な悪化などに対する対応については、協会ホームページをご覧ください。協会事務室(平常通り開室)へお問い合わせください。新年度からの開講に多くの方が受講されるのを、お待ちしております。

### 会員によるコンサート延期のお知らせ

3月14日(土)に予定していました会員によるコンサートは、コロナウイルスの感染予防対策に鑑み、延期する事に致しました。

すでにお申込みいただいた皆様、またすでにお振込みいただいた皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。諸般の状況からどうぞご容赦ください。

ウイルスの感染が収まりした時点で改めて開催日を決め皆様にお知らせしますので、その節はどうかよろしくお願い致します。

# 行事・催し報告

## ドイツの日

理事 押尾 愛子

2月15日(土)、神戸日独協会と芦屋市国際交流協会との共催で、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館の協賛を得て、「ドイツの日 German Day」が芦屋市立潮芦屋交流センターで開催されました。芦屋市国際交流協会ではこれまでも、各国の方をお招きして「〇〇国の日」という催しをされ、今回が6回目とのこと。来賓の芦屋市長 いとう まい氏の挨拶の後、在大阪・神戸ドイツ連邦共和国のヴェルナー・ケーラー総領事による講演が行われました。

来場者約100名で満員御礼の中、ケーラー氏は「私自身3年以上芦屋に住んでいて、山と海とに囲まれ、自然を大切にしているこの芦屋が大好きです」と言って会場をなごませ、『ドイツの環境問題について』という本論に入っていた。

環境問題というと、昨今はグレタ・トゥーンベリを中心とする若い人々の活動が注目されている。確かにこの活動は「我々は、我々の子の世代、孫の世代に対して責任がある」と政治家を動かし、メルケル首相をして「地球温暖化防止のために、できることはする」と言わしめた。しかし政治が環境のために力を入れるというのは、今、急に始まったことではない。ドイツには『緑の政治 Grüne Politik』という言葉がある。“緑の党”ができてすでに40年になるが、『環境』をポリシーとするこの党は、ドイツに大きな影響を与えてきた。

ドイツは「環境先進国」と言われるが、その取り組みには根拠がある。40万年の間の空気中のCO<sub>2</sub>の濃度を見ると、多少の変動はあるものの、昨今のCO<sub>2</sub>の極端な増加は間違いなく人間のせいであると、ケーラー氏はパワーポイントを使って、私達を視覚的に納得させながら、話を進めていかれる。我々人間がしたことなら、我々はそれに対して責任がある。そしてケーラー氏が見せてくれた、ケーラー夫人が撮ったというある山の写真。それはブロッケン山で、ゲーテの『ファウスト』にも出て来る、5月1日に魔女の集まる山だ。かつては鬱蒼としていて、ブロッケン現象とも相まって、魔女の山というイメージを作ったのだろうが、今は木が枯れてしまって、まるで禿山。痛々しくさえある。

確かに1997年地球温暖化防止京都会議(COP3)での京都議定書とか、2015年気候変動枠組条約締約国会議(COP21)でのパリ協定くらいなら、私たちも知っている。が、ドイツの取り組みは、会議で決まったから従わなくてはいけないという消極的なものではない。2011年の福島原発事故の後でメルケル首相が「脱原発」を発言した時、私たち日本人はびっくりしたが、実はドイツではそれ以前から環境問題への取り組みの中で、エネルギーシフトについて議論がなされていたのだ。

そして今、ドイツは単独で環境問題への政策を進めるのではなく、まずEU全体での目標設定があり、それに基づいて国ごとに具体的なプランを設定する。「脱原発」は2022年まで、2038年には「脱石炭」を掲げている。では石炭に代わるエネルギーは何かというと、再生可能エネルギーである。具体的には風力とか太陽光で、ここでケーラー氏は、風の強い北ドイツは風力発電に向いていて、太陽光発電は南ドイツに適していると、分かりやすい図を見せてくださる。ただ風力発電

はドイツでも、陸上では騒音問題が発生したりで難しいとか。また地熱エネルギーも注目されているという。

次に、更なる目標は2050年のカーボンニュートラル、つまりエネルギーの消費量を、現在の半分に減らそうというものだ。このためには産業別に削減目標を定める必要があり、電力産業、建物、交通など、分野ごとに決められている。例えば交通なら、公共交通機関をもっと利用しようと、鉄道には軽減税率が適用されたりもする。

こういうドイツの先進的な取り組みを聞きながら、「ドイツはすごいなあ！」と感じると同時に「日本は大丈夫かな？」と心配になる。私たち個人が何もしなくていいのかしらというだけでなく、日本の企業は後れをとっているのではないかと懸念するのである。

いかにもドイツらしい、ケーラー総領事の有意義な講演の後、岩佐えり子さんのピアノ、田中隆子副会長のリードで「ローレライ」や「山の音楽家」など馴染みのあるドイツの歌を歌い、その後はユーハイムさんのその日焼きたてのバウムクーヘンを切り分けて頂きながらの交流会と、「ドイツの日」を楽しみました。

## 2019年度ドイツ菓子講習会

### 第2回ドイツ菓子講習会に参加して

津田 信隆

今までは私が唯一ほぼ失敗無く作れるケーキは、パウンドケーキだけでしたが、昨年10月頃に「ドイツ語で学ぶクリストシュテン(Christstollen)作り」講習に行ってきました。ドイツ語の基本表現から、お菓子用語までひとつおとり駆け足で講習があり、レシピもドイツ語でなかなか面白かったのですが、あまりにも盛り沢山で結局あまり頭に残っていませんが、出来たシュトレンの美味しさに感動しました。その後、12月にミュンヘン、ウイーンへの旅行の機会があり、あちこちのCaféで本場のシュトレンやケーキを頂きましたが、講習で作ったシュトレンも決して負けてなかったと思いました。そのあたりで、神戸日独協会の料理講習会が普通の料理から菓子シリーズになって、なぜかこのところ意志に関係なくケーキづくりに取り組んでいます。

今回講習の Apfelkuchen, Zwiebelkuchen 共にとても甘すぎず、良い味で、材料も一般的で常に家に在庫しているものなので、これは作る事が出来ると思いました。

実習ではリンゴ、玉ねぎのカットと多くを Zwiebelkuchen の方を主に担当させて頂きました。パン生地の部分は、もうかなり忘れていますがバターロールパンの生地作りに似ていましたが、思いのほか力が必要で、日下部先生のパワフルな実演にびっくりしました。その後、皆さんが作って頂いた玉ねぎとベーコンを炒めたものとサワークリームなどを順次均一に重ねて行き、最終的にオーブンに入れて焼き、串で焼け具合を確かめて、出来上がったものを6等分にカットしてお皿に盛り付けました。日下部先生から“大成功ですね”とお褒め頂き、嬉しかったです。

テーブルでは初めての方ばかりでしたが、料理以外にもいろいろとお話させて頂き、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。また参加させて頂きたいと思います。

ありがとうございました。

## 「第3回ドイツ菓子講習会」に参加して

会員 森田 智津子

2月23日、お菓子シリーズ3回目、JR住吉駅近くの東灘区民会館8階の料理教室で1時半からスタート。合田ドロテアさんと飯室節子さんのお二人の先生に習いました。「マーブルケーキ」はどうして作るのか楽しみでした。バター1箱(量にびっくり)をしっかりとミキサーで混ぜ、溶いた卵4個を加え、薄力粉と牛乳を交互に加えながらさらに混ぜ、半分をケーキ型にいれ、残りの半分にはカカオパウダーと砂糖を加え混ぜたものを上にのせます。そしてフォークでいねいに上下に回転させ、左から右へと混ぜることでマーブルのように模様をつくることができました。オーブンで50分ほど焼き、粉砂糖をふりかけると出来上がりました。テーブルごとに色んな模様ができ楽しかったです。

もう一つは「チョコレートムース」。ダークチョコレート2枚を砕いて、バターと湯煎して溶かし、卵2個の卵白をしっかり泡立て、生クリーム1箱もしっかりミキサーで混ぜておきます。卵黄に砂糖を加え、チョコレートと混ぜ、卵白、生クリームを混ぜ合わせ、気に入った器にいれ冷蔵庫で冷やしました。ドライフルーツやミントの葉をトッピングして出来あがりでした。

お二人の先生のドイツ語での会話のやりとりは、会員になって60年近く前の記憶では聞き取れなく、また習えたらいいなと思いました。次回も料理教室参加できるのを楽しみにしています。

# ドイツ語談話室

## 第194回ドイツ語談話室

日 時 : 2020年1月18日(土) 14-16時

場 所 : 神戸日独協会会議室

テーマ : 私の趣味

今回の司会は原田耕作氏が担当し、若い頃は登山、ロッククライミングとスキーに熱中していたが、今はハイキングとゴルフを楽しんでいるとの事。最近ウイーンで、市主催のハイキングスタンプラリーに挑戦し、ウイーン周辺11のハイキングコースの内7つを踏破して金メダルを得たとの話。

参加者の皆さんから、それぞれの趣味について、話が出た。

- ・囲碁は60年以上やっているが奥が深い。中国、韓国以外にも、ヨーロッパ各国、ロシアでも盛んである。
- ・写真、自動車、クラシック音楽が趣味だが特にウイーンのニューイヤーコンサートが好き。
- ・料理、手芸、旅行は60年来の趣味。近年は登山やハイキングも楽しむ。
- ・人生そのものが趣味で生活のすべてが楽しい。トルストイも生きることそのものが楽しみ、と言っていて同感。
- ・学生の頃は切手収集が趣味だったが、ポップミュージックやスキーも楽しんだ。
- ・ドイツ語と英語学習が目下の趣味。NHK ラジオの語学講座を毎日聞いている。
- ・40年来ヨガにはまっている。健康維持にもヨガのトレーニングはとても有益。
- ・旅行、読書、外国語の学習、ピアノが趣味。静かにコーヒーを味わいながらの読書は最高。
- ・日本語が好きで、17文字で綴る俳句を楽しむ。近作に、「日脚伸び25時間ある如く」。
- ・フランス刺繍が趣味で、テーブルクロスやコースターなど多くに刺繍を施している。またケーキを焼くのも趣味。

## 第195回ドイツ語談話室

日 時 : 2020年2月15日(土) 14-16時

場 所 : 神戸日独協会会議室

テーマ : ブレグジット(BREXIT)

今回の司会は原田耕作氏が担当し、イギリス政府が1月末にEUからの脱退方針を正式に決めた事で、今後の影響について様々な意見が出されている状況を話し、この決定による経済的影響はEU諸国よりイギリスにとって大きいだろうとの意見を述べた。参加者の皆さんからも、それぞれのコメントが出された。

- ・イギリスのやった一番大きな間違いは、国民投票にかけた事だ。歴史的にも感情に走りやすい国民投票による弊害の例は多い。

- ・BREXIT に倣って、メーガン妃の王室からの脱退 MEXIT が話題になっている。
- ・EUは大きくなりすぎたのではないか。EU各国間のレベル差がありすぎる。
- ・BREXIT に関連してヨーロッパでは多くの的を射たジョークや批評が流布している。
- ・BREXIT はドイツやフランスにとって良い面もある。
- ・イギリス人はもともとヨーロッパ人と思っていなかったのだからEUへの統合は所詮無理だったのでは。
- ・BREXIT はイギリスのエゴイスティックな行動だが、これが他の EU 諸国に影響しないよう望む。
- ・イギリスでは、EU 脱退による影響について、正しい情報が国民に与えられていなかった。

### 今後のドイツ語談話室の予定

第196回 2020年3月21日(土) 14-16時 テーマ : 様々な習慣

第197回 2020年4月18日(土) 14-16時 テーマ : いま最も関心のある事

## Deutsche Gesprächsrunde

### Protokoll der 194. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag 18. Januar 2020, 14 bis 16 Uhr

Thema: Mein Hobby

Dieses Mal hatte Herr Kosaku Harada die Gesprächsleitung und erzählte, dass er sich, als er jung war, für das Bergsteigen, Felsenklettern und Skilaufen begeisterte. Heutzutage genießt er Wanderungen und das Golfspiel. Neuerdings ist er 7 Wege der 11 „Stadtwanderwege“ von Wien gegangen, und hat dafür eine Gold-Medaille der Stadt bekommen.

Die Teilnehmerinnen und Teilnehmer sprachen daraufhin über ihre Hobbys.

-Ein Teilnehmer spielt schon seit über 60 Jahren „Go“. Go ist ein sehr tiefgründiges Spiel. Es ist in China, Korea und auch Europa, inklusive Russland, populär. – Ein Teilnehmer interessiert sich für Fotos, Autos und klassische Musik. Besonders gefällt ihm das Neujahrskonzert in Wien. – Eine Teilnehmerin nennt als ihre Hobbys Kochen, Handarbeit und Reisen. Schon mehr als 60 Jahre sind dies ihre Lieblingsbeschäftigungen. Seit einiger Zeit macht sie auch Bergwanderungen. – Eine Teilnehmerin nennt als Hobby „das Leben selbst“. Sie beruft sich dabei auch auf Tolstoi: „Das Leben selbst ist Freude“. – Ein Teilnehmer sammelte, als er Student war, Postkarten. Außerdem mag er Popmusik und Skifahren. – Ein Teilnehmer lernt gerne Englisch und Deutsch. Er hört jeden Tag den NHK Radio Sprachkurs. – Eine Teilnehmerin trainiert seit über 40 Jahren Joga. Damit kann man sich gut bei Gesundheit erhalten. – Die Hobbys einer anderen Teilnehmerin sind Reisen, Lesen, Fremdsprachen und Klavierspielen. Das Schönste sei das Lesen in Ruhe bei einer Tasse

Kaffee. – Eine Teilnehmerin liebt die japanische Sprache und schreibt gerne Haikus. Ihr neuestes Haiku lautet in Übersetzung: “Länger wird der Tag, als wär’ die Zeit der Stunden fünfundzwanzig gar“. –Eine andere Teilnehmerin stickt sehr gerne. Sie dekoriert Tischdecken, Untersetzer usw. mit Stickereien. Außerdem backt sie gerne Kuchen.

## **Protokoll der 195. Deutschen Gesprächsrunde**

Zeit: Samstag 15. Februar 2020, 14 bis 16 Uhr

Thema: BREXIT

Auch bei dieser Gesprächsrunde hatte Herr Kosaku Harada die Leitung und sprach zuerst davon, dass die englische Regierung die Umsetzung des BREXIT Ende Januar 2020 endlich beschlossen hat. Es gibt unterschiedliche Auffassungen über die Nachwirkungen. Herr Harada geht davon aus, dass die wirtschaftlichen Nachwirkungen auf England wohl größer sein werden, als für die anderen EU Länder. Hier einige Meinungen von Teilnehmerinnen und Teilnehmern:

-Der größte Fehler England war wohl die Volksabstimmung. In der Geschichte findet man mehrere Volksabstimmungen, die auf Gefühlsbasis entstanden und schließlich Schäden verursachten.

-Nach dem BREXIT spricht man nun von MEXIT, dem Ausscheiden Prinzessin Meghans aus der Royal Family.

- Die EU ist wahrscheinlich zu groß geworden und die Niveaus der Mitgliederstaaten zu unterschiedlich.

-In Bezug auf BREXIT sind bereits viele ironische Witze und scharfe Kommentare im Umlauf.

-Für Deutschland und Frankreich ist der BREXIT vielleicht eher vorteilhaft.

-Schon lange denken sich die Engländer selbst nicht als Europäer. Es war vielleicht von Anfang an unmöglich die Engländer in die EU einzubeziehen.

-BREXIT war eine egoistische Entscheidung der Engländer. Mögliche Nachwirkung ist, dass ähnliche Bewegungen in anderen Mitgliedsstaaten entstehen.

-In England bekamen die Bürger nicht ausreichende und auch unrichtige Informationen über die Vor- und Nachteile des BREXIT.

### **Nächste Treffen**

Samstag 21. März, 2020, 14 bis 16 Uhr. Thema: Gewohnheiten

Samstag 18. April, 2020, 14 bis 16 Uhr. Thema: Was mich heutzutage interessiert



## 3・4月の実行委員会のお知らせ

3月と4月の実行委員会を下記のとおり開催します。新型コロナウイルス感染拡大防止のために現在講座等は一時休止(事務室は開室)していますが、年度末・年度初めで特に次年度前半の活動等について決めるべきことが多々ありますので、感染防止に配慮の上、下記のとおり開催します。実行委員以外の方にも是非ともご参加の上ご意見をいただきたくお願いいたします。

日 時： 3月15日(日)15時～

4月19日(日)15時～

場 所： 神戸日独協会会議室

## 事務室からのお知らせ

### 2019年度新会員のご紹介 (敬称略・順不同)

個人準会員： 近藤哲夫、大島洋子、妹尾行雄、山下 恵、芳山美奈、藤沢史朗

学生 会員： 永井康友、山口悠利、李 基朱、外間寛洋

## 会報発送ボランティア募集

会報の発送を手伝ってくださる方を募集しております。次回の発送予定は本来は5月ですが、新型コロナウイルス感染対策などで年度末・年度初めの予定変更、情報発信の混乱が予想されますので、最新の情報を提供するために特別に4月にも会報を発行します。発送は4月9日(木)を予定しています。お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡(TEL/FAX 078-230-8150)の上、12時半頃事務室にお越しください。

## これからの神戸日独協会の催し

行事及び催し物の開催につきましては、新型コロナウイルス感染防止のため日時の確定及び実施が極めて流動的ですので「一覧表」は割愛させていただき、その都度別途「協会ホームページ」でお知らせいたします。「協会ホームページ」でご確認いただくか、あるいは協会事務室へお問い合わせください。